

News Release

㈱まちづくり小浜 おばま観光局

2016年2月29日

ふくい観光活性化ファンドからの投融資実行について ～日本版 DMO としての機能強化を小浜市と連携し推進～

本日付で、株式会社まちづくり小浜(以下「当社」という。)は、株式会社地域経済活性化支援機構と(以下「REVIC」という。)、株式会社福井銀行(以下「福井銀行」という。)が共同で出資する「ふくい観光活性化ファンド(以下「本ファンド」という。)」からの、投融資を受けましたので、お知らせいたします。

なお、今回の投融資は、本ファンドの第1号案件となります。

当社は、観光を軸とした小浜市全域の活性化を実現するため、小浜市内の事業者や公的団体等が出資する観光まちづくり会社として 2010 年4月に設立いたしました。以来、道の駅の運営や観光イベントの企画・運営・PR事業等、市と一体となって、同市の観光活性化の中心的役割を担っております。なお、REVIC が出資するファンドが、行政体が出資する株式会社が行う観光活性化事業を支援するのは今回が初めての試みです。

小浜市は 2010 年に、市内の観光3拠点を「道の駅」「海の駅」「まちの駅」とし、「3駅周遊による観光活性化」を目指しています。当社は「道の駅」を市の玄関口とし、小浜市が誇る最も魅力的な水産資源を有する「海の駅」、重要伝統的建造物がひしめき明治期からの芝居小屋を誇る「まちの駅」への周遊を促します。また、各エリアへの着地型ツアーや体験型プログラムを企画・実施し、市内滞在時間を延ばすことで観光消費額の増加を図り、観光業以外の産業(水産業等)でも波及的効果を目指してまいります。

小浜市は、昨年8月に REVIC と福井銀行との間で、「包括的連携協定」を締結しており、官民一体となった観光活性化を推進しております。当社の日本版 DMO としての役割(観光情報発信、イベント等集客事業の企画・実行)を一層強化していくため、今後は、同協定に基づき、当機構の観光に関する専門人材派遣を受け、当社の人材育成を図ります。

当社は、本ファンドからの成長資金供給と専門家によるハンズオン支援を通じて、小浜市の観光の活性化に引き続き取り組んでまいります。

【参考資料】

1. 豊かな水産資源。皇室献上品である「若狭ガレイ」やブランド魚「若狭ぐじ(アカアマダイ)」、伝統的な加工品である「鯖へしこ」「小鯛の笹漬け」(左上から時計周り)。



2. 周遊の出発拠点である「道の駅 若狭おばま」。一昨年7月全通の舞鶴若狭自動車道小浜ICから至近。地域のエンターランスとして情報発信機能を果たす。



3. 周遊拠点である若狭フィッシャーマンズ・ワーフを中核とする「海の駅」。CNNの「日本のもっとも美しい場所 31 選」にも選ばれた、景勝地「蘇洞門」の様子。



4. もう一つの周遊拠点である「まちの駅(移築した芝居小屋・旭座)」と、まちの駅を玄関口とする重伝建指定を受けている「小浜西組」エリア。



以上

<お問い合わせ先・ご相談の連絡先>

株式会社 まちづくり小浜 おばま観光局

〒917-0024 福井県小浜市和久里 24-45-2

電話 0770-56-3366 Fax 0770-56-3377